すか。

真木　八代ではもうひとつ大手の店舗が進出してくるような話があるんですが、そのことが具体化されるに従って誘致賛成派と反対派がめちゃくちゃにやり合うわけです。

　私達が一番残念に思うのは今まで仲よくやってきた市民の間で、激しい争いがあるということです。これは悲しいことですね。

岡田　私の所では各年齢層で生活改善グループ、若妻会、青年団とかいった研修の場があります。これらが核となってソフトボール大会、バレーボール大会などがあったりして部落ぐるみの活動はあります。

　ただ、レジャーとなればひとつのまとまりを見せるけれども、部落全体の融和ということになるとまだ難しいですね。

有田　私のところは田舎ですけど、生活が非常に変わって来て、昔みたいに部落の寄り合いなども行われず、親近感がなくなってきています。

　市民社会が近代化していくと残念なことに人間関係が冷たくなりますね。それは望ましくないことで、出来るだけ温い人間関係を保っていかなくてはなりません。しかし、高い賃金が欲しいということになれば一次産業はダメだ、工業だということになって、このあたりに壁があってなかなか難しいですね。

余暇を考える

余暇で精神面を豊かに

有田　現在熊本県政は、従来の高度成長経済を目指す考え方から大きく旋回した福祉優先の県政を推し進めていますが、皆さん方若い人はこの福祉という問題をどうとらえていますか。まず身近な問題として勤労者福祉における週休二日制などについて真木さんどうですか。

真木　私は八代の青年会議所の仕事をやっていますので、この間、地場産業を中心にアンケート調査をやったんです。その中に週休二日制の問題も盛り込んだわけですが次のような意見がありました。

　週休二日制はいいが実際そうなった時にはかなわんと言うんです。家に居てゴロ寝していて女房子供からどこかへ行こうとせがまれるより、かえって会社に出て仕事をしていた方が気が楽だというわけです。今では、レジャー、スポーツ施設等も徐々に充実されてきてはいますけど、まだまだ充分ではありません。実際休みになって、さて、どこに行って一日過ごすかというと、ちょっと迷いますね。週休二日制になる前に、もっと意義のある余暇の過ごし方というものを皆んなが考えることが必要だし、行政にしてみても施設の充実も急務でしょうが、今少し住民の気持ちの中に這りこんだ施策の展開が必要ではないでしょうか。具体的にはボランティア活動なりコミュニティつくりへの参画などをもっと呼びかけるべきです。

▲余暇を利用してオリエンテーリングで楽しむ人たち

住尾　私の会社でも従業員福祉として、社員持ち家制度、週休二日制というものを具体的に検討するという段階にまではきているんです。

　ただ、さっき真木さが発言されたように、週休二日制で休みが一日増えるというだけではいけないと思います。海外のやり方を物まね的に導入するということであれば問題です。心の準備期間が必要でしょうし、そのためには国民的立場からの公的機関の啓蒙はひとつの手がかりになると思います。

有田　坂本さんレジャーをどう有効に活用するかとなるとどうですかね。

坂本　農家の主婦というものは、ただただ仕事に追いまわされて自分の時間というものを持ちません。たとえ自分の時間があったにしても何に利用したらいいのかわからないというのが現状のようですね。

　私達は婦人会で、習字クラブ、趣味の手芸、家庭菜園とかを行って余暇を過ごしております。余暇を通して精神面を豊かにすることが大切ですね。

岡田　私の所は農繁期を除けば殆んど日曜日は休みです。婦人会や農協、消防団などでそれぞれソフトボールなどの行事を持っております。私は思いますが今からは家族ぐるみのレジャーが必要だと思います。

城　私達はレジャーを楽しむというような恵まれた環境にはありません。我々の場合は月給じゃなくて日当なんです。日曜日ごとに休めるかというとそうはいかんのです。自分では休もうと思っても周囲の目があるんです。

　日本人はレジャーというと、車に乗ってどこかにでかけるとか、パチンコ、ボウリングとかしないとレジャーではないと観念的に決めつけている傾向がありますね。

　私にしてみれば、山歩きをして木が大きくなっているのを見て気持がよくなるのもレジャーなんですよ。

小川　同感です。私達漁業も生活に追われてもいますが、また潮の関係で出漁を余儀なくされることがあります。休みということになれば、シケの日か盆、正月です。休みは行き当たりばったりで計画性というものがありません。

有田　休暇とかレジャーというものはそれぞれの地域、立場によって考え方が随分違うようですね。しかし全体の傾向としては機械化が進む中で余剰労働力もでてきますし、レジャーの機会は多くなってゆくものと思います。各人が余暇の過ごし方というものを自分の問題として受けとめ考えてみなければならないと思います。

社会経済　構造の変化

社会情勢の変化に対応

有田　これからは各分野で急速に社会構造なり経済構造が変化してくると思うんです。

　若い人達は相当に勉強していかなくてはこの変化についていけないという懸念があります。特に工業、商業というのはその傾向が著しいようですが。

住尾　私の会社が扱っているめん類というものは伝統的なもので、職人さんも多いわけですけれども、最近のようにカップに入った食品がでてきますと、どうしても食品についての化学的な勉強をやらないと変化に追いつけないんです。今までは職人さんたちだけで充分にやれたんですけどね。

真木　商業というものは外側の環境に非常に左右されますね。これが変わるとその影響をまともに受けるんです。農業の場合はトラクター一台入れるとその効果の程度というものが大方計算できるんですが、商業の場合は大型店舗が進出してくると、どの位の影響を受けるかは予測がつかないんですよね。どれ位売上げが減少して、どのくらい打撃を受けるかはっきり解らないんです。それが解るまで待とうと言っていた日にはこちらがつぶれてしまうわけだから大体の計算の上に立って

▲自動車縦貫道南関インター